Asset Management One

運 用 報 告 書（全体版）

Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2018年９月28日から無期限です。
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目的として、運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資信託証券※と「ＤＩＡＭマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。なお、別に定める投資信託証券については、適宜見直しを行います。 ※別に定める投資信託証券：「Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス」
運用方法	主として、わが国を含む世界の株式、債券、不動産投資信託証券、コモディティおよびそれらを投資対象とする上場投資信託証券（ＥＴＦ）を実質的な投資対象とする別に定める投資信託証券に投資します。なお、別に定める投資信託証券には、国内外の有価証券先物取引、オプション取引、スワップ取引等のデリバティブ取引および外国為替予約取引等を活用するものを含みます。 別に定める投資信託証券への投資割合は、原則として高位とすることを基本とします。 別に定める投資信託証券やその配分比率については、適宜見直しを行います。この際、投資対象として定められていた別に定める投資信託証券が投資対象から除外されたり、わが国を含む世界各国の様々な資産への分散投資に資すると判断される投資信託証券が新たな投資対象として定められることがあります。 １万口当たりの基準価額（過去に支払った収益分配金の金額は含みません。）が2,000円を下回った場合には、投資対象ファンドの売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎年１月、３月、５月、７月、９月および11月の各15日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>
コールセンター：0120-104-694
受付時間：営業日の午前９時から午後５時まで
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

愛称：100年ギフト

第37期　<決算日　2024年11月15日>
第38期　<決算日　2025年１月15日>
第39期　<決算日　2025年３月17日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）」は、2025年３月17日に第39期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社
東京都千代田区丸の内1-8-2
https://www.am-one.co.jp/

Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）

■最近５作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			投資信託受益証券組入比率	純資産総額
		(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
		円	円	%	%	百万円
第９作成期	25期(2022年11月15日)	8,695	50	△0.9	98.1	4,516
	26期(2023年１月16日)	8,701	50	0.6	99.0	4,444
	27期(2023年３月15日)	8,531	50	△1.4	98.8	4,311
第10作成期	28期(2023年５月15日)	8,599	50	1.4	99.0	4,238
	29期(2023年７月18日)	8,828	50	3.2	99.1	4,282
	30期(2023年９月15日)	8,794	50	0.2	98.7	4,143
第11作成期	31期(2023年11月15日)	8,587	50	△1.8	98.9	3,942
	32期(2024年１月15日)	8,764	45	2.6	98.7	3,941
	33期(2024年３月15日)	8,908	45	2.2	99.0	3,952
第12作成期	34期(2024年５月15日)	8,991	45	1.4	98.7	3,864
	35期(2024年７月16日)	9,114	45	1.9	99.0	3,854
	36期(2024年９月17日)	8,807	45	△2.9	98.8	3,685
第13作成期	37期(2024年11月15日)	8,856	45	1.1	99.0	3,620
	38期(2025年１月15日)	8,703	45	△1.2	99.0	3,466
	39期(2025年３月17日)	8,702	45	0.5	98.8	3,361

（注１）基準価額の騰落率は分配金込みです。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注３）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。
（注４）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

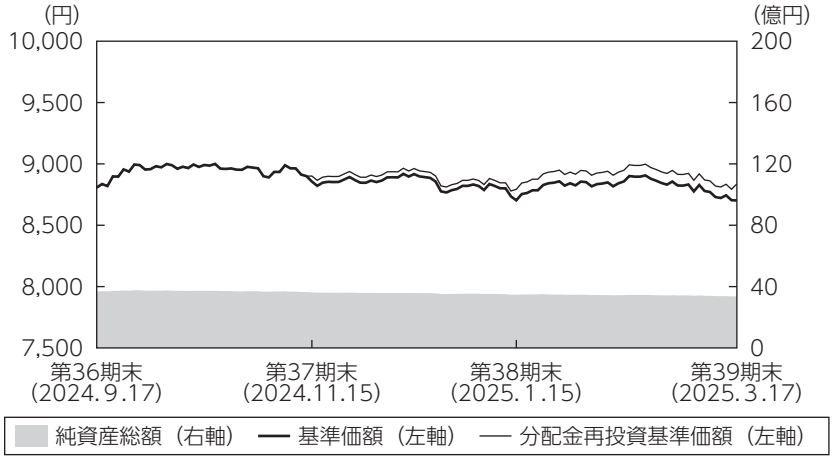
■過去６ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年月日	基準価額		投資信託受益証券組入比率
			騰落率	
第37期	(期首)	円	%	%
	2024年9月17日	8,807	－	98.8
	9月末	8,990	2.1	98.9
	10月末	8,964	1.8	98.9
	(期末)			
	2024年11月15日	8,901	1.1	99.0
第38期	(期首)			
	2024年11月15日	8,856	－	99.0
	11月末	8,846	△0.1	99.2
	12月末	8,820	△0.4	99.2
	(期末)			
	2025年1月15日	8,748	△1.2	99.0
第39期	(期首)			
	2025年1月15日	8,703	－	99.0
	1月末	8,856	1.8	98.9
	2月末	8,824	1.4	99.1
	(期末)			
	2025年3月17日	8,747	0.5	98.8

（注１）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
（注２）「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第37期～第39期の運用経過（2024年９月18日から2025年３月17日まで）

基準価額等の推移



第37期首：　8,807円
第39期末：　8,702円
（既払分配金135円）
騰　落　率：　0.3%
（分配金再投資ベース）

（注１）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
（注３）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
（注４）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

日銀による利上げや、堅調な米雇用統計等を受けた米国での利下げ見込みの後退などから、国内・先進国債券が下落（利回りは上昇）したことはマイナス要因となったものの、堅調な米経済指標や米大統領選挙後の減税、規制緩和への期待などを背景に、世界的に株式市場が上昇したことやハイイールド債券が上昇（利回りは低下）したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス	0.7%
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	0.1%

（注）Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラスの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

債券市場では、日銀の利上げ実施と追加利上げ観測を背景に国内債券は下落（利回りは上昇）し、堅調な米経済指標やＦＲＢ（米連邦準備理事会）の利下げ見込み回数の減少などを受けて、先進国債券も下落（利回りは上昇）しました。株式市場では、米国の対外政策や日銀の追加利上げへの懸念がくすぶったものの、堅調な企業業績や米大統領選挙後の減税や規制緩和などの政策期待、国内では円安進行も背景に、国内・先進国株式ともに上昇しました。

為替市場では、円安米ドル高となりました。堅調な米雇用統計などを受けた米国金利上昇や、米大統領選挙でトランプ氏が優勢との思惑とその後の勝利などを受け、作成期初から2025年１月上旬にかけて円安ドル高が進みました。その後は、日銀が利上げを決定し、さらなる利上げも意識されたことや、一部の米経済指標でインフレ沈静化が示唆されたことなどを背景に、円高米ドル安傾向に転じましたが通期では円安米ドル高となりました。

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りはプラス圏で始まり、当作成期末にかけて概ね上昇傾向で推移しました。日銀は2025年１月に政策金利を0.25％から0.50％に引き上げました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラスの組入比率は原則として高位を維持し、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス

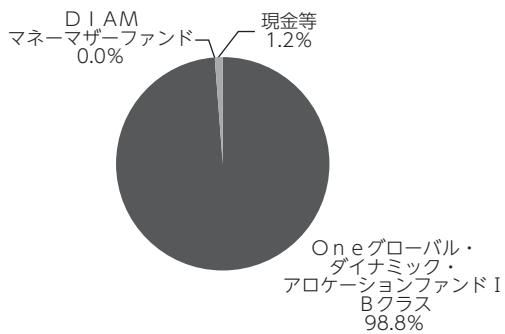
2024年９月上旬から12月末にかけて、実質利回りが上昇したと判定したことなどから、ハイイールド債券の資産配分比率を増加させました。また、2025年１月以降、国内債券や先進国債券についても実質利回りが上昇したとの判定から、資産配分比率を増加させました。３月上旬以降は、市場環境の悪化を受けて、株式等の収益追求資産の比率を引き下げました。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

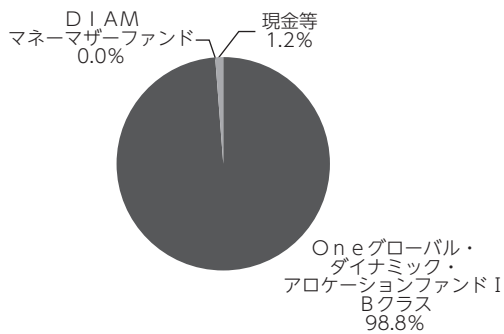
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成　※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

収益分配金につきましては分配方針に基づき、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（１万口当たり）

項目	第37期 2024年９月18日 ～2024年11月15日	第38期 2024年11月16日 ～2025年１月15日	第39期 2025年１月16日 ～2025年３月17日
当期分配金（税引前）	45円	45円	45円
対基準価額比率	0.51％	0.51％	0.51％
当期の収益	45円	45円	45円
当期の収益以外	－円	－円	－円
翌期繰越分配対象額	573円	573円	573円

（注１）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
（注２）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第３位を四捨五入しています。
（注３）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラスの組入比率は高位を維持します。また、ＤＩＡＭマネーマザーファンドへの投資も行います。

●Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス

世界の幅広い資産にバランス良く分散投資するとともに、状況に応じた適切な資産配分を行うことにより、基準価額の相対的に安定した値動きと収益の確保をめざします。

●ＤＩＡＭマネーマザーファンド

日銀は2025年３月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50％とする金融政策を維持しました。日銀は今後も政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは欧米で見られたような急激なものにはならないことが見込まれます。そのため、今後も公社債等への投資を通じ、安定的な運用をめざします。

■１万口当たりの費用明細

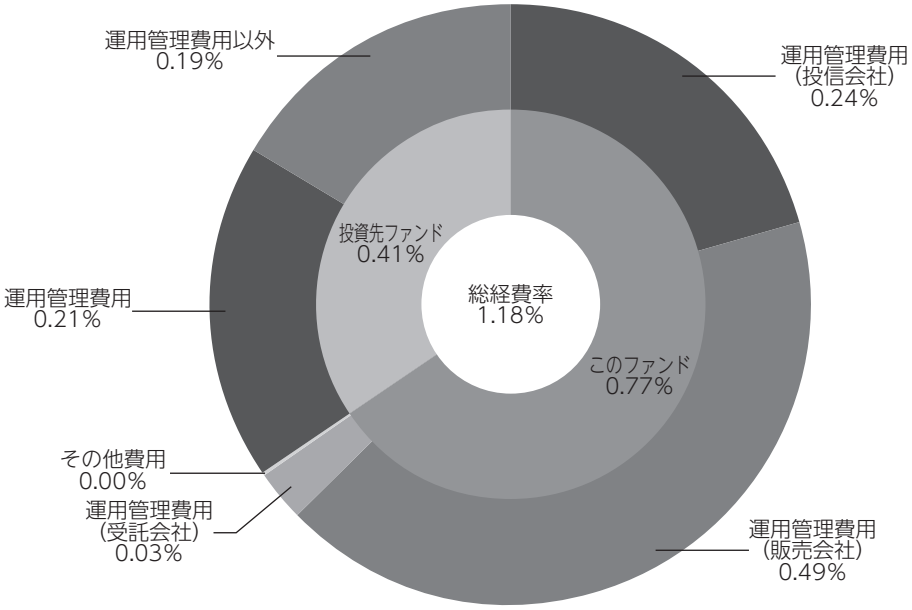
項目	第37期～第39期 (2024年９月18日 ～2025年３月17日)		項目の概要
	金額	比率	
(ａ) 信託報酬	34円	0.381%	(ａ) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,870円です。
(投信会社)	(11)	(0.120)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.245)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(ｂ) その他費用	0	0.001	(ｂ) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	34	0.383	

(注１) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注２) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注３) 比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注４) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.18%
①このファンドの費用の比率	0.77%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.21%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

（注1）①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注5）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年９月18日から2025年３月17日まで）

投資信託受益証券

		第　37　期　～　第　39　期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ　Ｂクラス	千口 －	千円 －	千口 33.021	千円 280,547

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年９月18日から2025年３月17日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2024年９月18日から2025年３月17日まで）

【Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【ＤＩＡＭマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決算期	第　37　期　～　第　39　期					
区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	4,995	－	－	2,647	199	7.5

平均保有割合　0.0%

（注）平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第12作成期末	第13作成期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドＩ　Ｂクラス	431.606	398.585	3,320,611	98.8
合計	431.606	398.585	3,320,611	98.8

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第12作成期末	第13作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	99	99	99

■投資信託財産の構成

2025年３月17日現在

項目	第13作成期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	3,320,611	97.9
ＤＩＡＭマネーマザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	69,494	2.0
投資信託財産総額	3,390,205	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年11月15日)、　(2025年１月15日)、　(2025年３月17日)現在

項目	第37期末	第38期末	第39期末
(A) 資産	**3,651,323,651円**	**3,495,740,734円**	**3,390,205,444円**
コール・ローン等	67,553,621	64,386,719	69,494,146
投資信託受益証券(評価額)	3,583,670,446	3,431,254,411	3,320,611,635
ＤＩＡＭマネーマザーファンド(評価額)	99,584	99,604	99,663
(B) 負債	**30,764,275**	**28,827,240**	**28,833,233**
未払収益分配金	18,397,116	17,925,485	17,382,232
未払解約金	7,732,050	6,302,646	7,003,719
未払信託報酬	4,617,522	4,581,663	4,430,413
その他未払費用	17,587	17,446	16,869
(C) 純資産総額(A－B)	**3,620,559,376**	**3,466,913,494**	**3,361,372,211**
元本	4,088,248,066	3,983,441,191	3,862,718,261
次期繰越損益金	△467,688,690	△516,527,697	△501,346,050
(D) 受益権総口数	**4,088,248,066口**	**3,983,441,191口**	**3,862,718,261口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**8,856円**	**8,703円**	**8,702円**

（注）第36期末における元本額は4,184,470,503円、当作成期間（第37期～第39期）中における追加設定元本額は1,706,152円、同解約元本額は323,458,394円です。

■損益の状況

項目	第37期 〔自 2024年9月18日 至 2024年11月15日〕	第38期 〔自 2024年11月16日 至 2025年1月15日〕	第39期 〔自 2025年1月16日 至 2025年3月17日〕
(A) 配当等収益	**23,232,192円**	**22,629,732円**	**22,005,943円**
受取配当金	23,215,228	22,613,887	21,974,840
受取利息	16,964	15,845	31,103
(B) 有価証券売買損益	**20,005,617**	**△60,936,147**	**△664,774**
売買益	21,252,861	426,439	1,403,856
売買損	△1,247,244	△61,362,586	△2,068,630
(C) 信託報酬等	**△4,635,109**	**△4,599,109**	**△4,447,282**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**38,602,700**	**△42,905,524**	**16,893,887**
(E) 前期繰越損益金	**△372,910,968**	**△343,616,032**	**△392,078,011**
(F) 追加信託差損益金	**△114,983,306**	**△112,080,656**	**△108,779,694**
(配当等相当額)	(102,069,727)	(99,470,816)	(96,491,858)
(売買損益相当額)	(△217,053,033)	(△211,551,472)	(△205,271,552)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△449,291,574**	**△498,602,212**	**△483,963,818**
(H) 収益分配金	**△18,397,116**	**△17,925,485**	**△17,382,232**
次期繰越損益金(G＋H)	**△467,688,690**	**△516,527,697**	**△501,346,050**
追加信託差損益金	△114,983,306	△112,080,656	△108,779,694
(配当等相当額)	(102,069,727)	(99,470,816)	(96,491,858)
(売買損益相当額)	(△217,053,033)	(△211,551,472)	(△205,271,552)
分配準備積立金	132,250,840	128,947,854	125,180,771
繰越損益金	△484,956,224	△533,394,895	△517,747,127

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 分配金の計算過程

項目	第37期	第38期	第39期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,741,762円	18,030,649円	17,558,700円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	102,069,727	99,470,816	96,491,858
(d) 分配準備積立金	129,906,194	128,842,690	125,004,303
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	252,717,683	246,344,155	239,054,861
(f) 1万口当たり当期分配対象額	618.16	618.42	618.88
(g) 分配金	18,397,116	17,925,485	17,382,232
(h) 1万口当たり分配金	45	45	45

■分配金のお知らせ

決　　算　　期	第　37　期	第　38　期	第　39　期
1万口当たり分配金	45円	45円	45円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
　○分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
　○分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ

＜Ａクラス＞
＜Ｂクラス＞

当ファンドは「Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ａコース）／（Ｂコース）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形　　態	ケイマン籍外国投資信託／円建受益証券
主要投資対象	世界の株式、債券、不動産投資信託証券（リート）、コモディティなどに投資を行うために、上場投資信託証券（ＥＴＦ）や、有価証券先物などの派生商品を主に活用します。
投資態度	①各資産への配分は、世界の景気動向や市場環境を勘案し、決定します。また、下落リスクが高まったと判断される場合は、短期金融資産や現金などの比率を引き上げることがあります。 ②為替ヘッジ比率は、為替予約取引を用いて適宜調整を行います。
主な投資制限	・有価証券の空売りは行いません。 ・信託財産の純資産総額の10％を超える借入は行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は純資産総額の15％を超えないものとします。
投資顧問会社	アセットマネジメントOne株式会社
受託銀行	CIBC Caribbean Bank and Trust Company (Cayman) Limited
管理事務代行会社	Mizuho Trust & Banking（Luxembourg）S.A.
保管銀行	Mizuho Trust & Banking（Luxembourg）S.A.

Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠはケイマン籍外国投資信託で、2023年12月31日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2023年12月31日現在の財務諸表の原文の一部を翻訳・抜粋したものです。なお、クラス分けされたものがないため、シリーズ・トラスト単位（Ｏｎｅグローバル・ダイナミック・アロケーションファンドⅠ）で掲載しています。シリーズ・トラストは複数のクラスで構成されています。

運用計算書
2023年12月31日期（2023年12月31日終了）

	日本円
収益の部	
税引後配当金（源泉税控除6,659,152円）	122,151,222
利息収入	8,453,792
収益合計	**130,605,014**
費用の部	
投資運用報酬	8,024,519
管理事務報酬	6,423,279
保管報酬	915,005
監査報酬	5,399,274
受託報酬	2,218,900
法律顧問報酬	98,706
その他費用	5,258,662
費用合計	**28,338,345**
純投資収益	**102,266,669**
投資有価証券売却による実現純利益	58,707,399
デリバティブ契約による実現純損失	(274,147,473)
外貨取引による実現純利益	177,125,123
期中実現純損失	**(38,314,951)**
投資有価証券による未実現損益の純変動	262,253,764
デリバティブ契約による未実現純損益の変動	132,348,363
外貨取引による未実現純損益の変動	9,429,214
期中未実現増加分の純変動額	**404,031,341**
運用による純資産の純増	**467,983,059**

	発行済受益権口数	一口当たり純資産価額（日本円）
クラス A	225,109	10,731
クラス B	466,310	8,419

投資有価証券明細表
2023年12月31日現在

投資タイプ・国・業種	銘柄	通貨	口数	償却原価（日本円）	公正価値（日本円）	対純資産%
普通株式						
アイルランド						
総合型金融サービス	ISHARES EUR HIGH YIELD CORP BOND UCITS ETF	EUR	31,700	409,782,223	465,535,880	7.34%
	ISHARES J.P. MORGAN USD EM BOND UCITS ETF	USD	57,800	667,718,506	715,369,458	11.28%
	ISHARES USD SHORT DURATION HIGH YIELD CORP BOND UCITS ETF US	USD	30,780	327,116,277	374,530,542	5.91%
米国						
総合型金融サービス	ISHARES GLOBAL REIT ETF	USD	206,000	653,219,221	702,232,659	11.07%
	ISHARES GOLD TRUST	USD	22,350	63,143,456	122,979,744	1.94%
石油・ガス・消耗燃料	INVESCO DB OIL FUND	USD	57,500	90,866,451	112,759,329	1.78%
普通株式合計				**2,211,846,134**	**2,493,407,612**	**39.32%**
投資有価証券公正価値合計				**2,211,846,134**	**2,493,407,612**	**39.32%**

ＤＩＡＭマネーマザーファンド

運用報告書

第15期（決算日　2024年４月５日）

（計算期間　2023年４月６日～2024年４月５日）

ＤＩＡＭマネーマザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにＣＤ、ＣＰ、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10％以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)	債券先物比率	純資産総額
		期中騰落率				
	円	%	%	%	%	百万円
11期(2020年４月６日)	10,089	△0.1	69.3	－	－	1,139
12期(2021年４月５日)	10,080	△0.1	62.4	－	－	1,064
13期(2022年４月５日)	10,071	△0.1	76.3	－	－	1,192
14期(2023年４月５日)	10,063	△0.1	71.8	－	－	1,253
15期(2024年４月５日)	10,055	△0.1	62.0	－	－	483

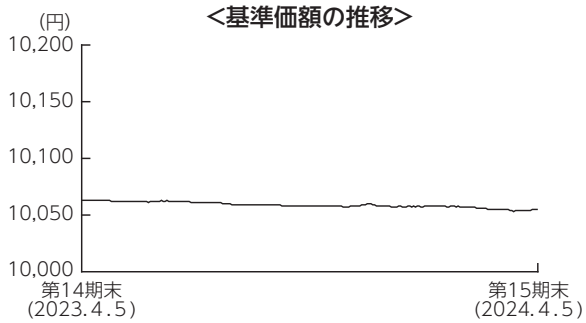
（注１）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。
（注２）当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。
（注３）△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額の推移

年　月　日	基準価額		債券組入比率	新株予約権付社債(転換社債)組入比率	債券先物比率
		騰落率			
(期　首)	円	%	%	%	%
2023年 4月5日	10,063	－	71.8	－	－
4　月　末	10,062	△0.0	71.8	－	－
5　月　末	10,062	△0.0	61.6	－	－
6　月　末	10,061	△0.0	61.6	－	－
7　月　末	10,060	△0.0	61.6	－	－
8　月　末	10,059	△0.0	61.6	－	－
9　月　末	10,058	△0.0	61.6	－	－
10　月　末	10,057	△0.1	61.6	－	－
11　月　末	10,058	△0.0	61.6	－	－
12　月　末	10,057	△0.1	60.2	－	－
2024年 1　月　末	10,057	△0.1	60.2	－	－
2　月　末	10,055	△0.1	60.1	－	－
3　月　末	10,054	△0.1	62.0	－	－
(期　末) 2024年 4月5日	10,055	△0.1	62.0	－	－

（注1）騰落率は期首比です。
（注2）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2023年４月６日から2024年４月５日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,055円となり、前期末比で0.1％下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いましたが、日銀のマイナス金利政策の影響が大きく基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

国内短期金融市場では、３ヵ月物国庫短期証券利回りは、日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、当期末にかけては、マイナス金利政策の解除を受けて上昇の動きとなり、利回りはプラス水準に転じる局面がありました。

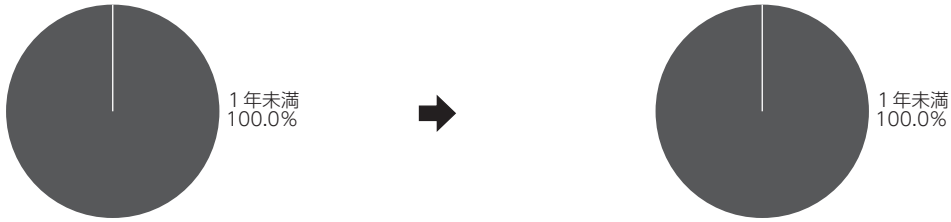
ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比

期首（前期末）　　**当期末**



今後の運用方針

日銀は2024年３月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策の解除を決定しました。声明文で日銀は「現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」としており、今後はプラス圏ながらも金利は低位で推移するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■１万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■売買及び取引の状況（2023年４月６日から2024年４月５日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	500,341	600,273 (500,000)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）（　）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2023年４月６日から2024年４月５日まで）

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当期					
区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	500	200	40.0	600	－	－

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	300,000	299,992	62.0	－	－	－	62.0
合計	300,000	299,992	62.0	－	－	－	62.0

（注）組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第２位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
（国債証券）	%	千円	千円	
４４０回　利付国庫債券（２年）	0.0050	100,000	100,006	2024/09/01
４４１回　利付国庫債券（２年）	0.0050	100,000	100,004	2024/10/01
４４６回　利付国庫債券（２年）	0.0050	100,000	99,982	2025/03/01
合計	－	300,000	299,992	－

■投資信託財産の構成

2024年４月５日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	299,992	62.0
コール・ローン等、その他	183,876	38.0
投資信託財産総額	483,868	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第２位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年４月５日)現在

項目	当期末
(A) 資産	**483,868,290円**
コール・ローン等	183,875,306
公社債(評価額)	299,992,000
未収利息	546
前払費用	438
(B) 負債	**－**
(C) 純資産総額(A－B)	**483,868,290**
元本	481,233,562
次期繰越損益金	2,634,728
(D) 受益権総口数	**481,233,562口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**10,055円**

(注１)	期首元本額	1,245,658,613円
	追加設定元本額	13,726,863円
	一部解約元本額	778,151,914円
(注２)	期末における元本の内訳	
	バンクローン・ファンド（ヘッジなし）	15,843,407円
	バンクローン・ファンド（ヘッジあり）	13,867,169円
	バンクローン・ファンド（ヘッジなし／年１回決算型）	1,088,285円
	バンクローン・ファンド（ヘッジあり／年１回決算型）	98,095円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,959,763円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	989,197円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	494,102円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド１月号	494,102円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド２月号	48,517円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド３月号	395,083円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド４月号	11,377円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド５月号	98,027円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド６月号	989,197円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド７月号	395,083円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド８月号	494,102円
	新光ピムコ・ストラテジック・インカム・ファンド９月号	494,102円
	ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円
	ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円
	クルーズコントロール	294,245,101円
	ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円
	ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円
	ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円
	ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円
	ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円
	ＤＩＡＭ新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円
	ＵＳストラテジック・インカム・ファンドＡコース（為替ヘッジあり）	993,740円
	ＵＳストラテジック・インカム・ファンドＢコース（為替ヘッジなし）	1,987,479円
	ＤＩＡＭ－ジャナス　グローバル債券コアプラス・ファンド<ＤＣ年金>	9,935円
	マシューズ・アジア株式ファンド	14,723,185円
	Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ａコース）	99,040円
	Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｂコース）	99,040円
	Ｏｎｅ世界分散セレクト（Ｃコース）	99,040円
	世界８資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）	99,109円
	モルガン・スタンレーＵＳハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジあり）	188,380円
	モルガン・スタンレーＵＳハイイールド債券ファンド（毎月決算型）（為替ヘッジなし）	109,063円
	モルガン・スタンレーＵＳハイイールド債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジあり）	297,442円
	モルガン・スタンレーＵＳハイイールド債券ファンド（年１回決算型）（為替ヘッジなし）	118,977円
	ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
	ＰＩＭＣＯストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジあり）	301,134円
	ＰＩＭＣＯストラテジック・インカム・ファンド（為替ヘッジなし）	1,493,740円
	Ｏｎｅ／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（成長型）	9,943,324円
	Ｏｎｅ／フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド（隔月決算・予想分配金提示型）	1,988,665円
	期末元本合計	481,233,562円

■損益の状況

当期　自2023年４月６日　至2024年４月５日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△54,712円**
受取利息	26,392
支払利息	△81,104
(B) 有価証券売買損益	**△502,000**
売買益	14,000
売買損	△516,000
(C) 当期損益金(A＋B)	**△556,712**
(D) 前期繰越損益金	**7,856,815**
(E) 解約差損益金	**△4,744,512**
(F) 追加信託差損益金	**79,137**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**2,634,728**
次期繰越損益金(G)	**2,634,728**

(注１) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注２) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。
(注３) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。